

令和8年 仕事始め訓示

令和8年1月6日

礼文町長 澁谷 秀勝

皆様、新年あけましておめでとうございます。

令和8年、2026年の仕事始めにあたり、職員の皆様がそれぞれ新春を新たな決意を抱いて迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

私にとりまして町長として迎える初めての新年となります。昨年7月3日の就任以来、礼文町の未来に責任を持つ町長としての役割を深く胸に刻み、日々精進してまいりました。今年はさらに前進し、町民の皆様の期待に応える一年にしたいと決意を新たにしているところでございます。

さて、皆様もご承知の通り、現在の日本は地方自治がその存在意義を問われる重要な局面を迎えています。人口減少、物価高騰、エネルギー価格の変動といった地方が直面する課題は深刻であります。同時に、昨年末には中央政治や国際情勢にも目を向けるべき動きがありました。日銀による政策金利の調整やアメリカのFRBによる経済政策が国内外の経済に与える影響は、今後も注視しなければなりません。このような厳しい状況下においても、私たち礼文町は地方の声をしっかりと中央に届け、国との連携を

強化しながら、逆風にも負けない力強い町づくりを進めてまいります。

令和8年、今年は丙午（ひのえうま）の年です。「丙」は太陽が力強く輝き、希望に満ちた様子を表し、「午」は活力や勢いを象徴しています。この特徴的な丙午の年は、私たちが挑戦を通じてさらなる飛躍を遂げるべき節目の年であり、礼文町として地域全体が未来へ向けて前進する土台を築くための重要な一年になると確信しています。

もちろん、私たちが立ち向かう課題には簡単には結果が出ないものもあります。しかし、一步一步地道な努力を重ねて困難を克服していく姿勢こそが、持続可能な発展への道を切り拓くものだと信じています。今年はその精神を全職員で共有し、町の未来を支える礎をともに築いてまいりたいと考えております。

国内外の経済状況も依然として予断を許さない中で、町民の皆様様の生活がさまざまな影響を受けていることを行政として痛感しております。灯油価格の高騰や食料品価格の上昇、さらには為替変動の影響が暮らしや地域産業に及ぶ厳しさは、看過できるものではありません

しかしながら、私たち礼文町には希望が見えてきています。漁業における水揚げ額の増加、観光業の回復の兆しなど、島全体の活気の復調が着実に進んでいることは頼もしい状況です。春から夏にかけて観光客が増加することで、さらに町全体の賑わいが戻ることが期待されます。こうした地域の力を最大限に活用し、次なる発展につなげていきたいと思えます。

また、今年には地方創生の重要な柱として、町民の皆様や関係者との連携をより一層深めてまいります。今年には「有人国境離島法」においても大変重要な年を迎えます。この法律の延長だけでなく、礼文町にとって「礼文空港再開に向けた着実な前進」そして「稚内～新千歳空港路線への運賃低廉化」など、具体的な希望をもたらす政策が実現するよう、中央に対して粘り強く要請を続け、国の政策決定に対しては地方自治体からの意見発信を怠ることなく、私たちの声を届けてまいります。礼文町が持続可能な未来を築いていく自治体として、これからもその存在感を高めるべく尽力いたします。

新年は希望に満ちた新たなスタートを切る重要な節目です。

「雨垂れ石を穿つ」という言葉の通り、小さな努力の積み重ねが

最終的に大きな成果へとつながります。「今年の礼文町は一味違う」と町民の皆様に実感していただけるよう、改革と挑戦に満ちた一年にしていきたいと思います。

結びになりますが、町民の皆様が安心して希望を抱ける「あたたかな町づくり」を実現することが、私の最大の使命であります。人口減少の時代だからこそ、地域とともに挑戦を続け、新たな活力を生み出す町を築いてまいります。

以上、今年も変わらぬご協力とご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます、私の新年仕事初めの挨拶といたします。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。